

Adonis アドニス [ふくじゅ草]



北海道看護協会 北網支部ニュース
2025年1月 編集責任者：鈴木麻美

新しい年、2025年が始まりました。

日頃よりは支部活動に、ご理解とご支援をいただきまして心より感謝申し上げます。

支部事業も滞りなく実施することができ、2月8日（悪天候の場合は2月15日）網走オホーツク文化交流センターで開催を予定している、三職能合同研修「災害が発生した時～医療者の私たちにできること」と支部大会を残すのみとなりました。今年度の支部ニュース投稿も今回が最後となります。

次年度も北網支部では、研修会や交流会を通じて会員間の交流と連携を図り、地域住民のニーズに応えられるような支部活動を目指し、支部ニュース「ふくじゅ草」を通して、支部活動の様子をお伝えしていきたいと考えております。

今回の活動報告は、昨年9月に行われた意思決定支援に関する研修会についてです。

活動 報告

支部担当研修会「意思決定支援」
9月28日（土） 網走厚生病院

「意思決定支援研修会」を開催しました

坂口 史乃

9月28日（土）、網走厚生病院にて意思決定支援の研修会が開催されました。

はじめに、看護の動向についての報告があり、その後、意思決定支援の講義となりました。講師には、北見赤十字病院の専門看護師3人を迎え、意思決定支援の基礎知識、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）、コミュニケーションスキル、事例報告についての講義がありました。午後からは各グループに分かれてロールプレイを行い、頭と身体を使った楽しい研修でした。

意思決定支援の研修は、アンケート調査でも関心が高く、今回21名受けた参加者の顔ぶれも、看護師だけでなく、社会福祉士の参加もありました。意思決定支援は、病院だけではなく各種施設・訪問看護など様々な場面でに行われていることが分かりました。

今回の研修を通して、意思決定支援では、地域の特性を理解すること、連携を含めた自身の役割を理解すること、場面に応じた具体的な関わり・実践方法を理解しておくこと等が大切であることを学ぶことができ、とても有意義な研修となりました。



編集後記

今年度も Adonis(アドニス)【ふくじゅ草】のご愛読ありがとうございました。今後もできる限り皆様
が関心を持てる支部活動を行いたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

北網支部広報委員：坂口・鈴木